

図-2. 縦断面図

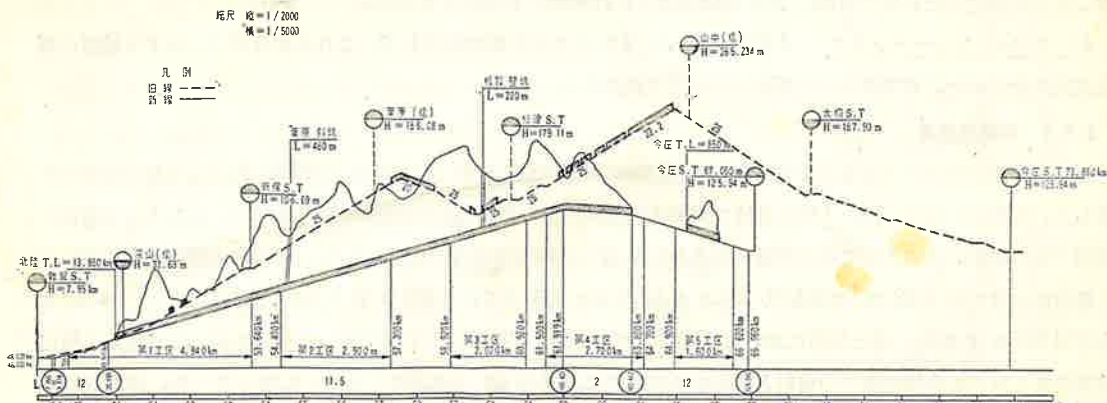
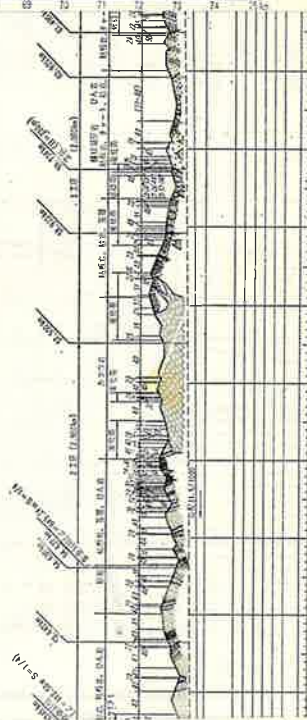


写真-1 北陸トンネル敦賀口門



の累積湧水量の値も前
湧水量推定図はこの平
において 18.3 m³/min
(延長 1.800 km) が排
湧水-北陸トンネルに
記述されている。
の資料実績によって補
ある。この意味におい
遭遇した地質および湧
いる。

図 4-1 北陸トンネル断面図



されたボーリングは直営 5 本 延べ 159.10 m, 部内委託(東京操機工事事務所) 5 本 延べ 190 m, 請負施工 14 本 延べ 1392.12 m および部外委託(帝国石油)

1 本 205 m の計 25 本, 延べ 1946.22 m であり, 着工後, 本工事施工業者直営によるもの 1 本 200 m, 請負施工 1 本 88 m, 直営 2 本 延べ 207 m がある。したがって現在までの実施ボーリングの総延長は 25 本 2441.22 m となる。このうち 10 本 1179.12 m は板取付近に施工された。帝国石油に委託した 1 本 205 m は板取断層調査の No. 5 孔が難工したので, 強化調査のためになされたものである。

2.1.3 ボア ホール利用の諸調査

ボーリング完了後, ボーリング孔を利用して次の諸調査を実施した。

- a) 孔内水温の測定 一般に地温は地表よりの深度に従って比例的に増加する。もし孔内に湧水があれば, この増温曲線は変化を示す。孔内水温測定には電気的サーミスターを使用した。
- b) 電気検層 孔内の比抵抗を測定し, 岩石のきれつ, 含水量について調査した。使用器械は, 鉄研型電探装置である。